

UM-01 Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

未来投資を見極める SCMデジタルリハーサル

富士通株式会社

2026年7月

© 2026 Fujitsu Limited

価値を継続的に創出する製造業へ

uvance

お客様の競争優位である価値創出力を、環境変化に左右されることなく維持・進化させるために、データとAIで現場・事業・経営をつなぎ、意思決定と実行を高度に連動させることで、“価値を継続的に創出できる企業能力”の確立に貢献していきます。

自律連動する設計・製造・サプライチェーン

01

Sovereign Engineering
Accelerator
設計・開発を守り加速する

02

Autonomous Factory Suite
工場を自律化する

03

Supply Chain Orchestration
サプライチェーンを統合運用する

全社データで支える意思決定と統制

04

Enterprise Data
Integration Fabric
信頼性の高いデータ基盤を作る

05

Global Operations Command
全社オペレーションを
意のままにする

06

Autonomous Governance
& Compliance
全社統制と規制対応を支える

コンサルティング

07

Consulting/FDE
顧客現場に入り込み
ビジネス課題を解決する

価値を継続的に創出する製造業へ

uvance

お客様の競争優位である価値創出力を、環境変化に左右されることなく維持・進化させるために、データとAIで現場・事業・経営をつなぎ、意思決定と実行を高度に連動させることで、“価値を継続的に創出できる企業能力”の確立に貢献していきます。

自律連動する設計・製造・サプライチェーン

01

Sovereign Engineering
Accelerator
設計・開発を守り加速する

02

Autonomous Factory Suite
工場を自律化する

03

Supply Chain Orchestration
サプライチェーンを統合運用する

全社データで支える意思決定と統制

04

Enterprise Data
Integration Fabric
信頼性の高いデータ基盤を作る

05

Global Operations Command
全社オペレーションを
意のままにする

06

Autonomous Governance
& Compliance
全社統制と規制対応を支える

コンサルティング

07

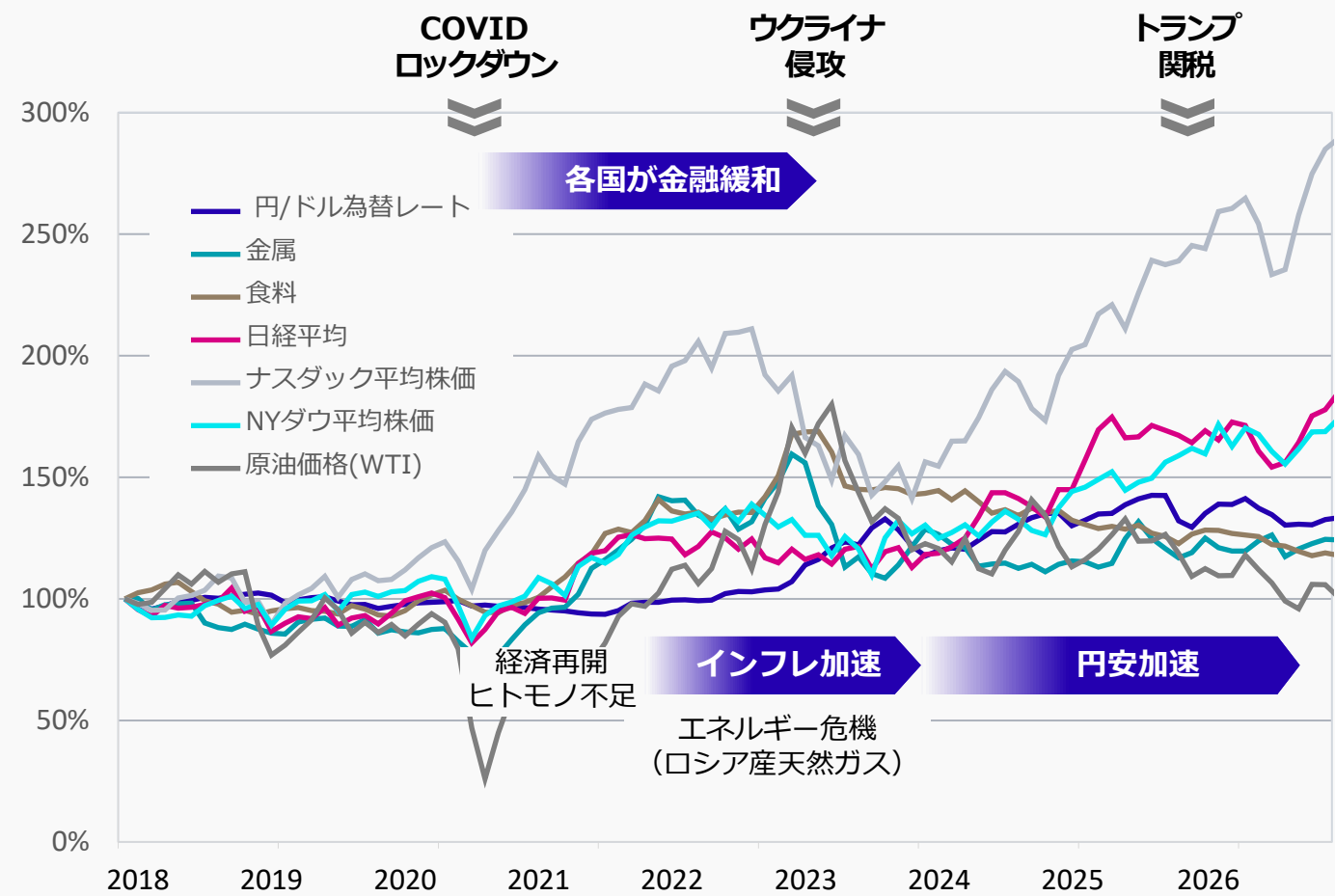
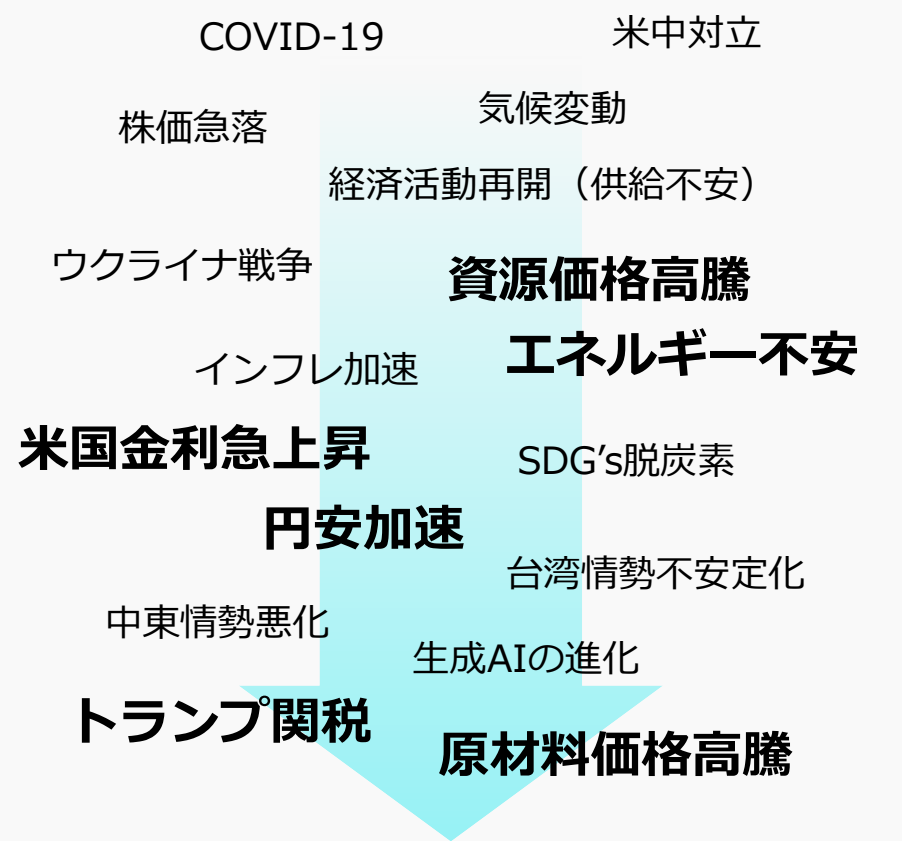
Consulting/FDE
顧客現場に入り込み
ビジネス課題を解決する

未来投資を見極める サプライチェーンレジリエンス経営

今日、私たちが直面している環境

有事/平時を問わず、サプライチェーンを取り巻く不確実性は高まっている

社会情勢の変動



サプライチェーン・デジタルリハーサル

経営・事業・現場を横断した有事/平時リスクの損失を最小化へ

1

有事/平時シナリオの網羅的な影響抽出

気候変動・物価上昇などの仮説シナリオで膨大な客観データから因果関係や将来予測で影響を定量把握

2

意思決定に必要な施策の経済性提示

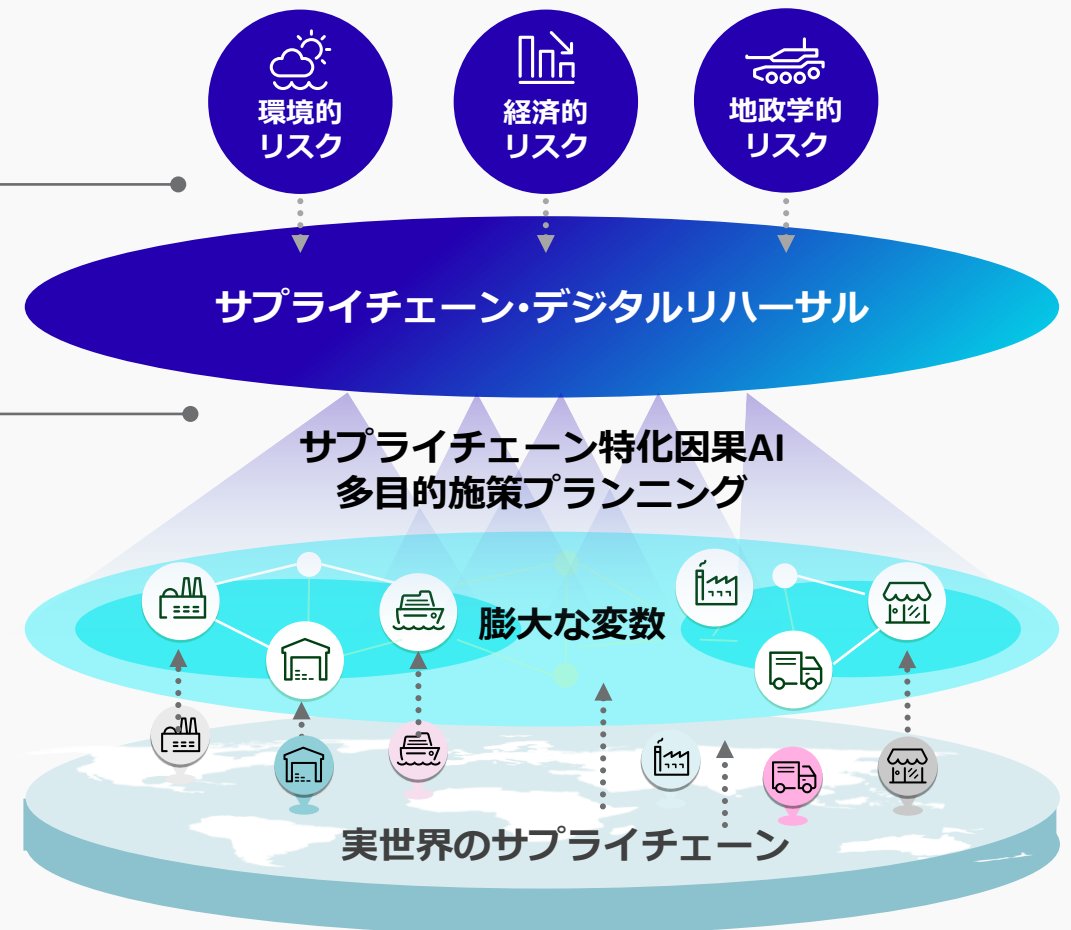
数千もの膨大な施策案に対して、コスト、効果、費用回収性といった経済性を比較

3

業務連動による投資判断の短サイクル化

選択した施策を業務（SCP）と連動させ、短サイクルでの投資判断見直しを実現

最適解を導き、未来の投資判断を支援



サプライチェーン・デジタルリハーサルによる有事・平時のSCM業務プロセス最適化

社内実践：通信機器製造業

数百社・数万点に及ぶサプライチェーンの複雑性が、全体を横断した需給最適化と影響把握の全社的な可視化を阻害



600

Suppliers



1,500

Items



40,000

Parts numbers

社内実践：通信機器製造業

サプライチェーン・デジタルリハーサルによる有事・平時のSCM業務プロセス最適化

導入効果

人の経験や勘に依存した判断から、オープンデータ×因果AIにより客観的データに基づく最適投資判断へ

Before

**全体での損益影響が定量評価できず、
最も費用が掛からない施策を選定**

【選択施策】①生産・供給優先度変更

- 費用 : 最小
- リスク回避（効果） : 小
- 全体収益改善 : 小

**Excelと個別システムのバケツリレーで
施策決定後の現場展開が遅延し、機会損失**

- 試算工数（1回） : 5日×5人
- 施策展開サイクル : 半期

After

**費用はやや掛かるがリスク回避効果最大の
施策を即時算出、投資対効果で判断し実行へ**

【選択施策】②部品のマルチ化

- 費用 : 中 （Beforeの4倍）
- リスク回避（効果） : 最大（損失▲70%）
- 全体収益改善 : 大 （利益+45%）

※弊社試算による想定値

**選択した施策を事業計画へ即時反映し、
突発的な事象や市場変化へ迅速に対応**

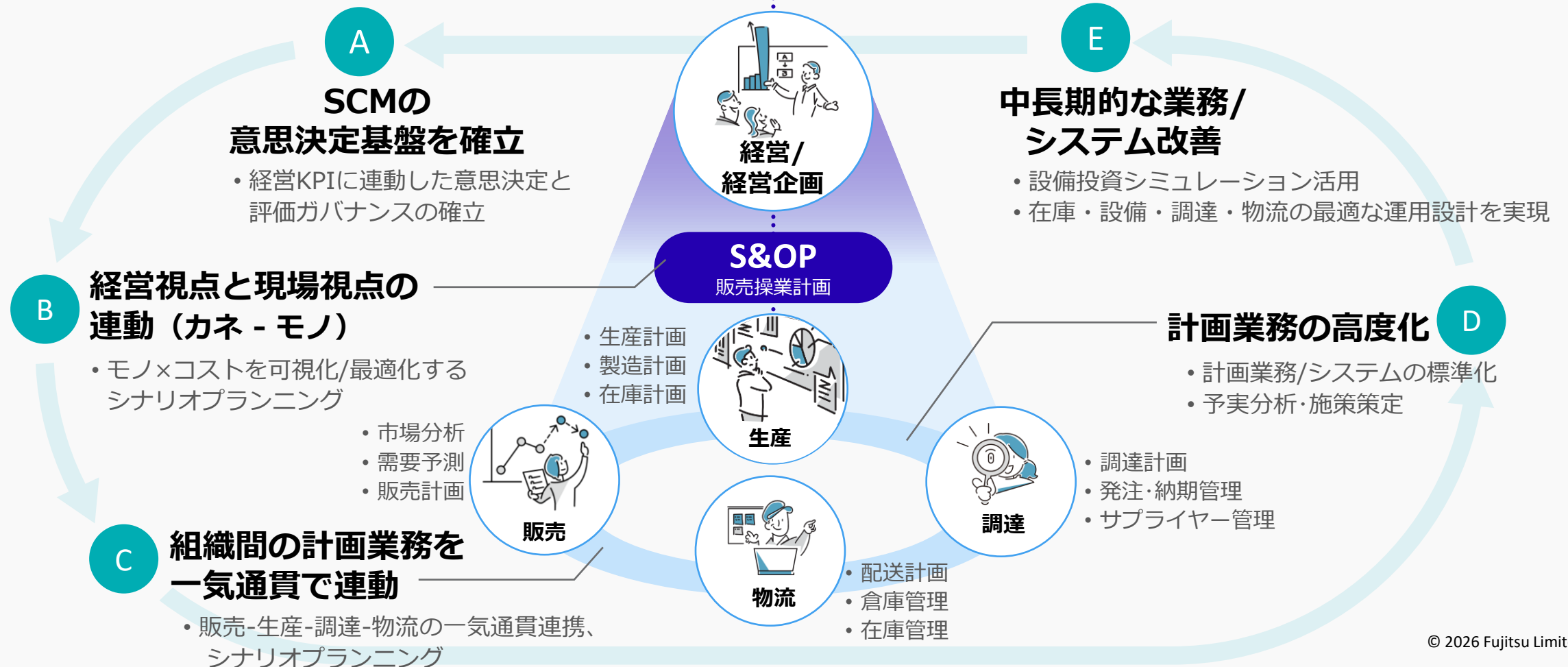
- 試算工数（1回） : 3日×2人（工数▲80%）
- 施策展開サイクル : 月次 （短サイクル化）

※弊社試算による想定値

富士通が推奨するサプライチェーン最適化

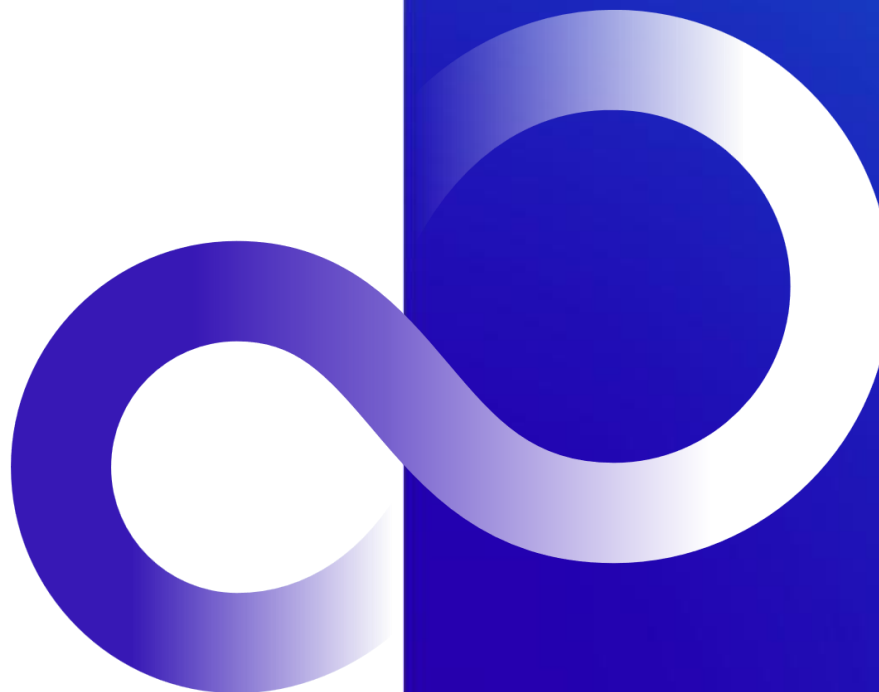
経営・現場をつなぐ意思決定の基盤を整え、人に依存した調整業務から、仕組みで回るサプライチェーンに変革

サプライチェーン・デジタルリハーサル



製造業務と経営意思決定の再設計により
AIドリブン経営を実現し、
不確実な環境の中でも顧客価値を創出し続ける
アジリティを確立する企業へと前進させる

Thank you



Appendix

サプライチェーン・デジタルリハーサル技術の強み

企業の中長期戦略で様々な不確実性へ対応するJIC型SCMに向けSC構造のリスク影響・施策案を網羅的に導出

環境・地政学観点の
将来リスク情報など様々なシナリオ

Input

サプライチェーン・デジタルリハーサル

1
影響を
評価

【入力】 sc構造

①a : リスクシナリオ分析

【出力】sc影響分析結果

【入力】①aの結果

①b : シナリオ予測

【出力】シナリオ毎の長期需給予測結果

2
最良施策
を提案

【入力】①a,①bの結果

②施策立案

Output

SCネットワークの改善施策

特許出願済

様々なリスクなどのシナリオがscへ及ぼす影響を中間要因を見出し網羅的に自動抽出[有識者の要因が含まれ実用レベル]、確度や復旧期間などインパクトも定量的に提示

他社優位性

既存生成AIでは難しかった中間要因を連鎖的に抽出。影響の説明性向上

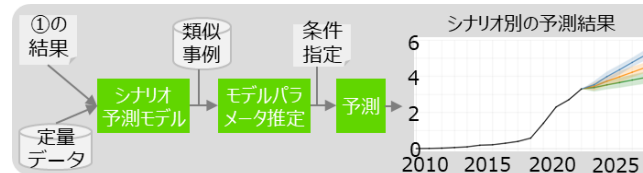


特許出願済

実ケースでシナリオの中間要因のデータが一部整わない状況で、類似事例からデータ推定し、シナリオ別に長期需給を予測[従来より予測結果が正解実績に近く、実ケースで高精度に予測]

他社優位性

従来の専門家の主観ベースではなく、多様な客観的シナリオで長期予測

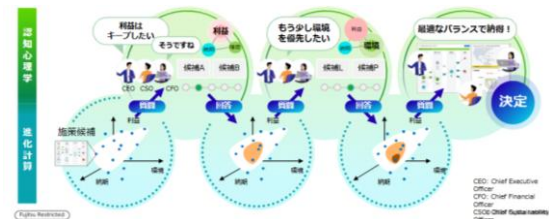


特許出願済

SC構造を変える施策を生成、多面的シミュレーションで効果把握。進化計算融合の独自技術で数千規模の膨大な候補から、これまで見いだせなかった施策を含め複数観点で最適施策を導出

他社優位性

従来の単一観点ではなく、複数観点の最適施策に少数インタラクションで到達





リスクがもたらす因果関係を分析します。

お問い合わせ

本資料に関するお問い合わせは
以下までお気軽にご連絡ください。



contact-scp@cs.jp.fujitsu.com